

兵庫医科大学 研究実施のお知らせ

本学で実施しております以下の研究についてお知らせ致します。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	顎骨 SPECT/CT 定量解析における関心領域設定方法の違いが定量値に与える影響 [倫理審査受付番号：第 5008 号]
研究責任者氏名	三木遼祐
研究機関長名	兵庫医科大学長 鈴木 敬一郎
研究期間	2025 年 4 月 15 日 ~ 2029 年 3 月 31 日
研究の対象	<p>以下に該当する患者さんを研究対象とします。</p> <p>疾患名：顎骨骨髓炎、顎骨壊死などの顎骨疾患患者や SAPHO 症候群などの炎症疾患のある患者さんで、顎骨 SPECT/CT 検査を受けた方 診療科名等：歯科口腔外科</p> <p>受診日：西暦 2018 年 4 月 1 日 ~ 2024 年 8 月 31 日</p>
研究に用いる 試料・情報の種類	<p>試料等 <input checked="" type="checkbox"/>カルテ情報 <input type="checkbox"/>アンケート <input checked="" type="checkbox"/>その他（診療で使用した SPECT/CT 画像）</p> <p>取得の方法：<input checked="" type="checkbox"/>診療の過程で取得 <input type="checkbox"/>その他（ ）</p>
研究目的・意義	<p>近年顎骨骨髓炎または顎骨壊死に対して SPECT(単一光子放射断層撮影)による定量評価の有用性が報告されていますが、定量値算出過程における関心領域設定方法の違いによって定量値に変動が生じています。しかし、最適な関心領域設定方法がどの手法なのかに関しては検討されておらず、どの関心領域設定方法で定量評価を行うべきか定まっておられません。</p> <p>本研究では顎骨 SPECT/CT の定量解析における関心領域設定方法の違いが定量値に与える影響を明らかにし、最適な関心領域設定方法を定めることを目的とします。関心領域設定方法の違いについての報告は少ないため、この研究によって顎骨の定量評価において最適な関心領域設定方法を明らかにし、定量評価の信頼性の向上が期待できる点で意義があります。</p>
研究の方法	2018 年 4 月 1 日から 2024 年 8 月 31 日に顎骨 SPECT/CT 検査を受けた方の、期間内の検査時のデータを使用させていただきます。期間内に複数回検査を受けた方は、すべてのデータを使用させていただきます。下顎骨骨髓炎または

	<p>下顎骨壊死の評価に解析ソフトの関心領域設定方法の違いを比較します。通常診療で取得した顎骨 SPECT/CT 画像とカルテ情報(身長、体重、放射性医薬品の投与量、投与時間、投与後の放射性医薬品の残存量とその測定時間、投与から検査までの待機時間、対象疾患の背景や治療方法、画像診断の所見、その他医療画像、検査結果等)を用いて解析を行います。</p> <p>関心領域設定方法として 最も放射性医薬品の集積の高い箇所を基準とする方法、 全体の放射性医薬品の集積分布を参考に設定する方法、 病変部位に限局した集積分布を参考に設定する方法、 非病変部位を基準とする方法の 4 パターンの違いによる定量値の比較を行い、最適な関心領域設定方法や評価に有用な定量値を明らかにします。</p>
<p>個人情報の 取扱い</p>	<p>収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。</p>
<p>本研究に関する 連絡先</p>	<p>診療科名等：放射線技術部 担当者氏名：三木遼祐 [電話]（平日 8:30～17:15）0798 - 45 - 6259 （上記時間以外） 0798 - 45 - 6126</p>